

会長 芝 毅
幹事 森 誠
クラブ会報委員長 永石 睦巳

水と衛生月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

例会日/毎週水曜日 19:00
事務局・例会場/〒643-0025
有田郡有田川町土生409
吉備インターゴルフセンター
TEL0737-52-8960
FAX0737-22-6800
E-mail: info@arida2000rotary.club
URL: http://arida2000rotary.club/

本日のプログラム

令和5年3月15日(水) 第998回
ソング「手に手つないで」
会長の時間 幹事報告 委員会報告
ニコニコ箱報告 出席報告
会員卓話 中屋喜臣君

次回のプログラム

3月22日 細則による休会
3月29日 内部卓話 中尾さなえ
4月 2日 1000回記念移動例会

前回の報告 (第997例会)

開催日

令和5年3月8日(水)
ソング「君が代」「奉仕の理想」
会長の時間 幹事報告 委員会報告
ニコニコ箱報告 出席報告
湯浅町立田村小学校 校長 辻信明様

●芝会長の時間●

皆さん 今晩は
メンバーの出席ありがとうございます。
本日の例会は、田村小学校 校長の辻信明様です。コロナ化で会員卓話ばかりでしたが、今回メンバー以外の卓話でありたいです。先生
よろしくお願ひします。年齢を重ねていくと寒いと体が、動かなくなり外出もおっくうになりがちですが、3月になり少し寒さも和らぎ気分もよくなってきたなと思います。というわけで、今日は三月について調べました。



3月の行事ひなまつり

ひな祭りの起源は、300年ごろの古代中国で起こった「上巳節」に遡るといわれています。「上巳

(じょうし/じょうみ)」とは旧暦3月の最初の巳の日(みのひ)のこと。のちに行事の日付が変わらないよう、3月3日となりましたが、もとは女の子のための行事ではなく、春の訪れを喜び、無病息災を願う厄払いの行事でした。

3月初めは季節の変わり目で、災いをもたらす邪気が入りやすいと考えられていました。古代中国では、この日に水辺で穢れをはらう習慣があったことから、紙や草でつくった人形で自分の体をなでて穢れを移し、川や海へ流したりするようになりました。「流し雛(ひな)」はこの名残です。

現在のように、段を組んだり、豪華な飾りを施したりするようになったのは江戸時代に入ってからのことです。江戸初期に、京都の御所で盛大なひな祭りが催されて以降、江戸の武家社会にも広まり、庶民の間にも定着したのだそうです。

雛人形は、溶け始めた雪の下から新しい命が芽吹き始める「雨水」(2/18~3/4ごろ)に飾ると良縁に恵まれ、早く片付けないと嫁入りが遅くなると言い伝えられ、「啓蟄(けいちつ)」(3/5~19ごろ)には片付けます。

当日は彩り華やかなちらし寿司や女の子の美德と貞節を意味する蛤のお吸いもの、白酒や雛あられなどをいただきます。菱の形に見立てた菱餅には、「雪の下から新芽が芽吹き、雪の上では桃の花が咲く」という意味が込められ、

緑・白・赤の3色のものが一般的ですが、2色や5色のものもあります。

●幹事報告●

幹事 森誠君

2640地区より

ロータリー・リーダーシップ研究会のRLI開催のご案内

英字版 Rotary

例会変更（ホワイトボード）

MY ROTARYの研修会に参加しました。



例会終了後、理事役員会開催致します。

●ニコニコ箱●

芝毅君：辻様 本日の卓話ありがとうございます。

森誠君：田村小学校 校長 辻信明様 本日はお忙しい中本当にありがとうございます。宜しくお願い致します。

南良暢君：田村小学校 辻信明校長先生様 本日はお越しいただきありがとうございます。

中屋喜臣君：皆様お疲れ様です。本日の卓話辻信明校長先生 よろしくお願ひします。

永石睦巳君：辻様 本日は、ようこそお越し下さりました。宜しくお願い致します。

前任君：田村小学校 辻信明先生 お忙しい中ありがとうございます。

平松一彦君：田村小学校 辻校長先生 本日はありがとうございます。日曜日はありがとうございます。

大浦輝彦君：皆さんこんばんは！辻校長先生本日の卓話よろしくお願ひ致します。

●出席報告●

樋口明君



	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	15名	9名	60.0%
今年度平均		11.4名	76.0%

●卓話●

湯浅町立田村小学校

校長 辻信明様

この度は、たくさんの図書購入費をご寄付していただき、誠にありがとうございました。職員一同、御礼申し上げます。購入させていただいた図書は、各教室に学級文庫として活用させていただいています。

本校の教育目標は、『自立貢献～未来を担う「かがやけ田村の子」の育成をめざして～』で、自分で考えて行動できる子どもを育てること。「20年後、30年後の田村を支える、ふるさとを大切にふるさとに貢献する」という子どもを育成することを目標にしています。みかん学習、しらす学習など、豊かな地域体験活動を通して、田村を知り、ふるさとを大切にし、将来、ふるさとに貢献しようと思う子どもに育ててくれることを願っています。

本校の図書教育として、朝の読書タイム、読み聞かせ、図書委員会活動が主な取組です。朝の読書タイムでは、読書の時間の確保と、読書をすることで落ち着いた気持ちで、学校生活がスタートできるようにと、朝の会の前に10分間行っています。読み聞かせは、5・6年生の児童が、朝の会の縦割り班で読んだり、1・2年生の教室に読み聞かせに行ったりしています。図書委員会活動では、読書を勧める目標を掲示したり、本の貸し出し手続きや読書の啓発イベントを行ったり、図書だよりを発行したりしています。

今後、情報教育が重視される中、本離れにならない取組が必要だと思います。タブレットを使って、電子書籍による読書の時代が訪れるかもしれませんが、個人的には、手に触れて、読みたいページがすぐにめくられて読み返すことができ、目にもやさしい紙書籍の読書を大切にしたいと思います。

将来、どのような社会になっていくのかわかりません。読書は「心の栄養」と言われます。読書活動を通して、子どもたちには豊かな想像力や知識などを育み、社会に適應できる人になってもらいたいと思っています。



●閉会点鐘● 芝会長